学校番号	４０７

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『最新　政治・経済』　（実教出版）						
副教材等	プリント教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

必履修科目「公共」で学んだことを活用して社会の在り方を発展的に学習し，学習の積み上げ，社会とのつながりという観点から，正解が一つに定まらない現実社会の諸課題について，追究したり解決に向けて構想したりする学習に取り組んでいく。このような学習を通して，主体的に生きる国民主権を担う公民として，他者と協働して解決策を構想し，それを表現して他者に伝え意見をまとめて合意形成を図ることができる資質・能力を育成するために，ICT 教材を活用して資料を収集したり，グループワークによる協働学習，レポート課題や発表を実施していく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
国家及び社会の形成者として必要な選択，判断の基準となる考え方や政治経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会の諸課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解しているとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想したり，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かおうとしたりしている。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代日本の政治	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治制度と政治参加	a:政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 b:民主政治の本質を基に，日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。また，政党政治や選挙などの観点から，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治のあり方や課題，基本的人権，政治制度に関する課題，日本国憲法の原理，日本の政治機構，政党の変遷，政治参加と公正な世論の形成などについて主体的に理解・追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 小テスト ワークシート レポート 発表	振り返りシート グループワーク等の活動の様子(観察) 発表

	現代日本の経済	・現代の経済社会 ・現代の日本経済と福祉の向上	a:経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解している。また、現代日本の経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係，消費者問題，循環型社会の実現に向けた諸施策などについて学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 小テスト ワークシート レポート 発表	振り返りシート グループワーク等の活動の様子(観察) 発表
2学期	現代日本における諸課題の探究	・持続可能な地域社会のあり方を考える ・地域における防災を考える ・財政健全化を考える ・起業を考える ・持続可能な農業を考える ・ワーク・ライフ・バランスの実現を考える ・持続可能な福祉社会の実現を考える	a:各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c:国民主権を担う公民として，現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 小テスト ワークシート レポート 発表	振り返りシート グループワーク等の活動の様子(観察) 発表 探究課題に向けた調べ学習 テーマ別探究プリント

	現代の国際政治	・国際政治の動向と課題	a:国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解している。 b:国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。また，国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。また，領土問題について問いを見出し，平和的に解決する観点から協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，主権国家間の国家利益を調整することや公正な国際貿易体制のあり方について学習したこと，軍縮における合意形成の過程などを参考にして，他者との意見調整や利害調整などに生かそうとしている。	定期考査 小テスト ﾜｰｸｼｰﾄ	定期考査 小テスト ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表	振り返りシート ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ等の活動の様子（観察） 発表

3学期	現代の国際経済	・国際経済理論 ・国際経済の動向と課題	a:貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解している。 b:相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現している。また，国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:国際社会を担う一員として，現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 小テスト ワークシート レポート 発表	振り返りシート グループワーク等の活動の様子(観察) 発表
	国際社会における諸課題の研究	・難民問題を考える ・外国人労働者との共生を考える ・自動運転技術を考える ・地球環境問題,資源エネルギー問題を考える ・国際経済格差の是正と国際協力を考える ・持続可能な平和のあり方を考える	a:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c:よりよい社会の実現のために，国際社会の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 小テスト ワークシート レポート 発表	振り返りシート グループワーク等の活動の様子(観察) 発表 探究課題に向けた調べ学習 テーマ別探究プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度